

# 堺地域における指導救命士の活用事例

## 大阪府堺地域メディカルコントロール協議会

- ・ 消防局：堺市消防局
- ・ 人口総数：88万5852人
- ・ 総管内面積：16,112 km<sup>2</sup>



- ・ **平成30年4月 救急部創設**
- ・ 救急隊数：23隊（特別救急隊1隊、乗換隊3隊含む）
- ・ 配置救急救命士：122名（救急救命士総数158名）
- ・ **指導救命士：16名**

令和元年12月1日現在

# 指導救命士制度ができるまでの救命士教育の課題

## 課題①

救急救命士の再教育について

- (1) 再教育に必要な単位の取得（連続する2カ年度間で128単位）
- (2) 気管挿管病院実習への派遣

病院実習の派遣調整や集中講義・症例検討会等の企画・調整・開催を本部が担っていた

本部やMC医師の負担に

## 課題②

救急隊活動の実態把握

- (1) 傷病者や病院交渉時の接遇要領
- (2) 救急隊の観察要領
- (3) 安全管理
- (4) 活動時の留意点（通知文にて周知）

通知文どおり実施できているか？

内容は伝わっている？

救急隊活動の実態を把握できていない



# 大阪府・堺の指導救命士制度

平成25年度 救急業務のあり方に関する検討会  
救急業務に携わる職員の生涯教育の指針ver.1



大阪府 指導救命士制度運用要綱制定（平成29年3月15日）  
指導救命士が行う教育・指導ガイドライン作成  
（平成29年3月15日）

指導救命士が救命士の再教育単位を付与できる。  
（事前申請によりMC会長が承認）



堺市消防局指導救命士運用要綱制定（平成29年4月1日）

指導救命士が救急救命士の再教育単位を付与できることを明記  
（事前申請によりMC会長の承認が必要）



ココがポイントだよ

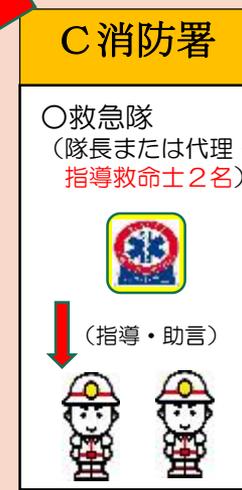
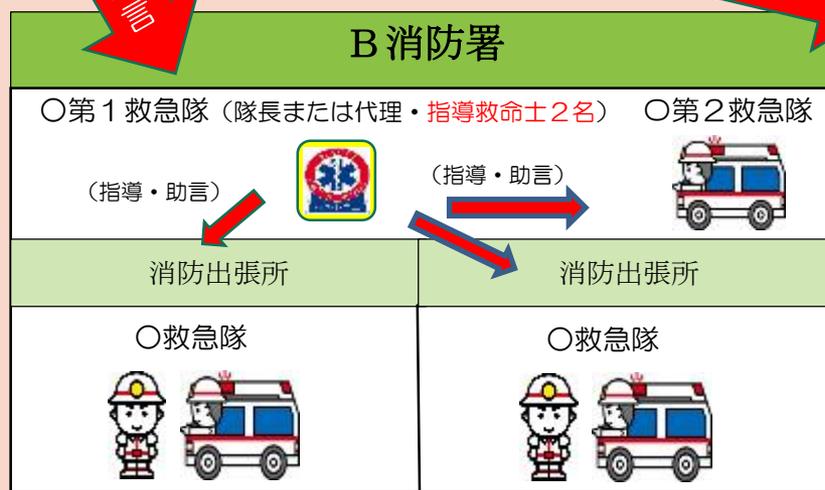


# 堺市消防局 指導救命士 配置図 (イメージ)

## 【消防局 (本部)】



## 【各消防署】



# 指導救命士の活動内容



(指名式の様子)

## 指導救命士指名式

胸章（指導救命士バッジ）を作成  
モチベーションの向上



(指導救命士バッジ)

## 通信指令課（指導救命士）

通信指令員の教育

研修会（企画・立案・調整・開催）

訓練（企画・立案・調整・開催）

検証会議

（参加・会議結果のフィードバック）



堺地域メディカルコントロール協議会  
検証医師による研修会

大阪府堺地域メディカルコントロール協議会 【堺市消防局】

----- Osaka Prefecture Sakai-Area Medical Control Council -----



## 本部 毎日勤務（指導救命士）

堺地域MC協議会 企画・調整  
救急統計などの分析・利活用  
・ORIONデータの分析・利活用  
・GIS（地理情報システム）を活用したデータの分析・利活用  
医療機関や関係機関との調整



## 指導救命士会議

指導方法・内容の統一  
課題・問題点の抽出  
情報共有



本部との情報共有

## 各消防署（指導救命士・隊長または代理）

所属消防隊の教育・指導  
所属救急隊の教育・指導

P

近隣医療機関との勉強会  
（企画・調整・開催・発表）

P

指導救命士による救急車同乗実習



# ま と め

## 指導救命士を活用して

- 1 各署に配置した指導救命士が勉強会を開催することにより、本部やMC医師の業務負担を増やすことなく勉強会の機会を増やすことができた。
- 2 指導救命士が座長や講義を行うことで、指導経験を積む機会が増加した。
- 3 指導救命士による救急車同乗実習を実施することにより、救急隊の活動内容・実態を把握することができ、通知文書の伝わり方や理解度を知ることができた。
- 4 指導救命士会議の開催、評価シートを作成したことで、救急隊に対して、統一のとれた指導を実施することができるようになった。
- 5 指導救命士自身の指導実績取得機会が増え、医療機関と事務調整を行うことにより、顔の見える関係を構築できた。